

### Ⅲ 図書館サービスの概要（平成23年度実績）

#### 1 利用者サービス

##### (1) 来館者へのサービス

新施設でのサービスを開始してから17年が経過し、登録者は23万人、貸出点数は1千5百万冊を超えた。

##### ① 貸出

貸出点数:10点以内（A V資料・大型絵本・大型紙芝居は合計3点以内）、貸出期間:3週間  
一般図書・児童書・A V資料・雑誌・郷土資料・外国語資料等が貸出可能な資料となっている。貸出冊数は、年間約87万3千冊である。

一般図書の貸出のうち、最も多いのは文学関係で、次いで家政学関係、社会科学関係が多い。利用者の年齢別では、最もよく本を借りているのは、男性が50代（18.7%）、女性が30代（30.1%）である。

##### \*予約、リクエスト

利用者の希望する資料が貸出中の場合は、館内ではO P A C（利用者用蔵書検索端末）で予約が可能である。また、館外ではインターネットで予約が可能である。未所蔵の資料については購入又は他館借用（相互貸借）により資料提供している。（P15～参照）

平成23年度予約冊数：26,125冊

##### \*遠隔地利用者図書返却サービス

県図書館で借りた本を、地元の図書館（室）で返却できる遠隔地利用者図書返却サービスを実施している。返却可能な図書館は、44館（室）である。

平成23年度実績：2,735冊

##### ② A V視聴及び貸出

ビデオ、LD、CD、カセットテープ、DVDの視聴サービスを行うとともに、貸出（一部閲覧のみの資料もあり）を行った。

平成23年度視聴件数 3,154件

平成23年度貸出点数 67,951件

##### ③ レファレンス・サービス

利用者の質問・調査研究に対して、所蔵資料・データベース・ウェブ情報などを用いて、回答や調査の支援を行う。

平成23年度の利用件数は、22,607件で、資料の所蔵調査が最も多い（15,508件）が、そのほか新聞・雑誌記事の検索、利用者の調査事項に対する適切な情報源の紹介など、内容は多岐にわたる。

（レファレンス事例集 <http://crd.ndl.go.jp/GENERAL/servlet/list.reference?id=2110001>

国立国会図書館レファレンス協同データベースより）

また、当館単独で回答が困難な場合は、国会図書館など他機関への照会、その分野に関する専門の調査研究機関の紹介なども行っている。質問の方法は直接来館しての口頭によるものが最も多いが、電子メールによる質問が占める割合は増加している。

##### (2) 児童サービス

##### ① 児童図書研究室

児童書、絵本及び子どもの読書に関する参考図書を収集し、児童書・絵本の選択や内容の研究、幼児期における本の与え方の研究などに使用している。平成24年3月より、当研究室の利活用推進のため、参考資料の一部を貸出可能とした。

絵本は網羅的収集に努め、読みくらべ絵本、視覚障がい者用布絵本・点字絵本なども所蔵している。（所蔵冊数約6万3千点）（児研の利用状況：160人）

児童図書研究通信「あひるの子」年1回発行

児童図書研究通信「プチあひるの子」月1回発行（県内公共図書館向け「相互協力通信」に掲載）

② 児童コーナー

児童書、絵本、紙芝居など約7万8千点の資料を排架  
平成23年度児童貸出冊数：257,771冊

③ おはなし室

絵本の読み聞かせ、紙芝居、ブックトーク、ストーリーテリングなどを実施  
おはなし会 次のとおりおはなし会を実施 平成23年度  
第1・3日曜日 おはなしサポーター 21回  
第2木曜日 職員 12回  
第2土曜日（小学生向き） おはなしサポーター 12回  
奇数月第1日曜日（外国語のおはなし会）外国絵本サポーター 5回

④ お父さんお母さんのための読み聞かせ講座

4月24日（日） おはなし室 講師 県図書館サービス課職員

(3) 郷土資料サービス

2階開架閲覧室に県内市町村史誌、郷土人伝記、教育関係資料、各種統計書、郷土文学資料など約1万9千冊を排架

新聞資料も開架閲覧室及び準開架室に排架、岐阜新聞・朝日新聞（地方版）・中日新聞（地方版）はマイクロフィルムも購入し、マイクロリーダー2台で閲覧複写可能

読売新聞（明治期・大正期・昭和期戦前Ⅰ、Ⅱ・戦後Ⅰ～Ⅲ）、朝日新聞（昭和戦前期）のCD-ROM版を購入し提供

平成20年度からは、中日新聞データベースを利用者に公開

<二次資料作成活動>

岐阜県関係資料の目次のデータ化については、これまでに『岐阜県史』『岐阜県教育史』などについて行っていたが、平成23年度は55市町村分（合併前の旧市町村分を含む）を追加。

【追加分】

岐阜地区 『川島町史』『岐南町史』『笠松町史』『北方町史』『本巣町史』『穂積町史』『巣南町史』『真正町史』『糸貫町史』『根尾村史』『高富町史』『伊自良誌』『美山町史』

西濃地区 『海津町史』『平田町史』『南濃町史』『上石津町史』『垂井町史』『関ヶ原町史』『神戸町史』『輪之内町史』『安八町史』『墨俣町史』『谷汲村史』『池田町史』『春日村史』『久瀬村誌』『藤橋村史』『徳山村史』

中濃地区 『美濃市史』『洞戸村史』『板取村史』『武芸川町史』『武儀町史』『岐阜県武儀郡上之保村誌』『大和村史』（『大和町史』）『美並村史』『坂祝町史』『八百津町史』『白川町誌』

東濃地区 『笠原町史』『加子母村誌』『山岡町史』『明智町誌』『串原村誌』

飛騨地区 『萩原町史』『岐阜県小坂町誌』『丹生川村史』『清見村誌』『荘川村史』『白川村史』『久々野町史』『高根村史』『国府村史』『神岡町史』

上記の他に、緊急雇用創出事業臨時特例基金を活用し、他の市町村誌、小学校社会科副読本等約500タイトルの目次をデータ化（順次公開予定）

この他、現在公開中の自館作成データベースは、「岐阜県関係新聞記事索引」「岐阜県関係雑誌記事索引」「岐阜県人物文献索引」「国立国会図書館「近代デジタルライブラリー」で見る岐阜県関係資料」など

＜所蔵資料のデジタル化＞

国の住民生活に光をそそぐ交付金を活用し、美濃派俳書約120冊（獅子門からの寄贈分）をデジタル化（館内で公開予定）

＜岐阜県に関するパスファインダーの作成＞

「長良川の鶉飼」「濃尾大震災を調べよう」などこれまでに作成した9種のパスファインダーを改訂したほか、「岐阜県の和紙」を新規に作成。

(4) 地図情報サービス

岐阜県図書館では、地図情報の資料として、空間的・時間的な情報を持つ地図及び地図関連図書を約15万点収蔵している。また県内はもとより、全国からのレファレンスに対応している。

① 主な所蔵資料

- ・ 国土地理院発行の地形図、世界の官製地図等
- ・ 旧ソ連製地図：中国、旧ソ連、インドなどのアジア地域を中心とした地図
- ・ 外邦図：旧陸軍参謀本部陸地測量部が作製した国内外の地図
- ・ 古地図：世界図、日本図、都市図、名所旧跡図等

② 主な事業

ア 館内外での企画展示

○ 趣 旨

県民に、地図資料にふれる機会を提供し、地図の持つ地理、歴史、文化等の価値やデザインの多様さ等を広く紹介する。

○ 内 容

それぞれのテーマや事業にそった展示を行っている。

- ・ 会 場： (A) 図書館2階企画展示コーナー (B) 図書館1階エントランスロビー  
(C) 県内市町村図書館等

○ 実 績

- (A) 図書館2階企画展示コーナー

催 事 名	開 催 日	内 容	閲 覧 者
◇常設展示 『地図は情報の玉手箱』	4月1日 ～10月16日 1月5日 ～3月31日	地形図や古地図などの所蔵資料を使って、①活かすコーナー、②描くコーナー、③鑑賞するコーナーの3コーナーに分けて展示した。 NHK総合テレビ番組「ブラタモリ」で使用された復刻・拡大版の江戸大絵図を展示し、自由に歩いて閲覧できるようにした。	6,887名
◇事業展示 『第17回児童生徒地図作品展』	10月29日 ～11月24日	県内の小・中・高・特別支援学校からの応募作品355点の中から、入選・入賞した64作品を展示した。	2,026名

(B) 図書館1階エントランスロビー

- ・「古地図紹介コーナー（古地図文化研究会刊行物）」：一枚刷や図録などの紹介がしてある。
- ・「余色立体地図コーナー」：国土地理院作製・赤青メガネを使用して自由に閲覧ができるようにしてある。
- ・「岐阜市の空中写真コーナー」：写真の上を自由に歩いて閲覧ができるようにしてある。

(C) 県内市町村図書館等

催 事 名	開 催 日 (会 場)	内 容
◇岐阜市歴史博物館	4月22日 ～5月29日	本館所蔵の古地図69点を提供した。
◇館外展示 「児童生徒地図作品展」	4月22日～5月17日 (岐南町図書館) 5月19日～6月23日 (美濃加茂市中央図書館) 6月24日～7月28日 (郡上市しろとり図書館) 7月29日～8月26日 (大垣市図書館)	第16回児童生徒地図作品展の入賞作品を制作した児童生徒・保護者から承諾書を得て、展示を希望する市町村図書館へ提供した。

イ 県図書館ホームページで収蔵資料の公開

○ 趣 旨

約15万点の地図関連資料を広く公開し、また、検索を容易にしてレファレンス機能を向上させる。

○ 内 容

・収蔵資料の4本柱である「国土地理院発行地図」「旧ソ連製地図」「外邦図」「古地図」を中心に、県図書館ホームページからの検索が可能で、テキスト一覧やインデックスマップも掲載している。

・古地図については、平成15年度に当館独自の詳細な古地図分類を完成させ、その分類方法に基づき検索が可能である。また、デジタルアーカイブ化を実施した古地図についてはその画像も公開している。

ウ 各種講演会・教室等の開催

○ 趣 旨

児童生徒から一般を対象に、地図に関する各種の講演会や教室等を開催することにより、地図資料に関する興味・関心を高め、その活用の仕方や理解を深める。

○ 内 容

- ・ 地図講演会：一般を対象に、地図の専門家・研究者を招いて地図に関する講演を年1回開催する。（※岐阜県古地図文化研究会・岐阜地理学会と共催）
- ・ わくわく地図教室：夏休み期間中の2日間、児童生徒を対象に、講師を招き開催する。
- ・ 地図講座：年に3回、一般を対象に講師を招き、地図に関するテーマを設定して講座を開催する。（\*岐阜県古地図文化研究会と共催）

○ 実 績

催 事 名	開催日 (会場)	内 容	参加人数
地図講演会	6月18日 (多目的ホール)	・ 演題：「古地図から見る近世の鴨川の河川景観と災害」 講師：吉越 昭久 (立命館大学教授)	150名
わくわく 地図教室	7月21日、22日 (研修室)	・ 小1～小3 「はじめての地図あそび・地図づくり」 ・ 小4～中3 「地球儀といっしょに自由研究ごでかけよう」 講師：渡辺 一夫 (地図研究家)	48名
地図講座	第1回 10月8日 (研修室) 第2回 10月15日 (研修室) 第3回 10月22日 (研修室)	・ 「中山道と宿場町 ～加納宿と高崎宿を中心として～」 講師：木村 稔 ・ 「東濃東部の断層地形と町並み」 講師：原 賢仁 ・ 「災害を絵図・地図から読む」 講師：安田 守	133名

エ 学校教育との連携・支援

○ 趣 旨

約15万点の地図資料及び情報システム機能を活用して、学校教育との連携・支援を図る。

○ 内 容

- ・ 出前授業 (講座)：担当職員が地図資料を活用した授業や講座等を小・中・高・大学等で開催している。

○ 実 績

出前授業 出前講座	7月10日	「地図から関市の再発見」 (関市立図書館わかさプラザ)	小3以上 13名
	7月24日	「地図から瑞穂の再発見 中山道・美江寺宿と和宮降嫁」 (瑞穂市立図書館)	小3～小6 22名
	8月2日	「地図や地球儀を活用する能力を高める授業づくり」 (岐阜県図書館)	小6年目 教諭40名
	8月9日	「地図のヒミツを探ろう」 (川島ライフデザインセンター)	小4～小6 15名
	8月17日	「地図情報の魅力」 (岐阜総合学園高等学校)	高教諭90名
	10月20日	「地図資料の活用・実践事例」 (岐阜県図書館)	高12年目 教諭1名
	11月4日	「地図資料の活用・実践事例」 (岐阜県図書館)	高6年目 教諭6名
	11月12日	「地図にみる本荘校区」 (岐阜市立本荘小学校)	小4～小6 30名
	12月6日	「地図にみる垂井・府中地区」 (垂井町立府中小学校)	小6 55名

## オ その他

- 広報活動
  - ・ 県図書館ホームページに各種事業を掲載している。
- 地図に関するパスファインダーの作成
  - ・ 「地形図を探す」を新規に作成
- 岐阜県視聴覚ライブラリーの貸出
  - ・ 視聴覚ライブラリーの16mmフィルムやビデオテープの保管及び貸出をしている。
- 特別貸出・貴重図書貸出
  - ・ 社会教育や学術関係、官公庁、その他一般の要請に応じて、資料や古地図データ、地球儀などを貸出している。

【※貴重図書貸出：20万円以上の図書や資料など】

平成23年度	特別貸出（含む貴重図書貸出）	18件
--------	----------------	-----

### (5) 高齢者・障がい者サービス

身体に障がいのある利用者のための駐車スペースやトイレ、拡大読書器、「大活字本コーナー」を設置。館内用車椅子の貸し出しを行い、書架幅も車椅子の対面通行が可能な幅となっている。

その他、視覚に障がいのある利用者のための点字ブロックや案内、対面読書室なども設置されている。

また、次のようなサービスを実施している。重度の身体障がいのある利用者や視覚に障がいのある利用者への郵送貸出サービス、視覚に障がいのある利用者への対面読書サービスや「サピエ」（視覚障害者情報総合ネットワーク）等を活用した点字・録音資料の提供、新たな録音資料の製作と提供。

なお、視覚に障がいのある利用者へのサービスについては、視覚障がい者サービス協力者の協力を得てサービスを実施している。

<障がい者サービスの実績> VI-1 平成23年度利用統計 (7)障がい者サービス (P30) 参照

### (6) インターネットによるサービス

#### ① 資料検索、予約及び情報発信

平成8年10月にホームページを開設し、ホームページからの資料検索や情報提供を実施。資料の検索のほか、貸出中の図書への予約、イベント情報の提供等を行っている。

平成19年度に子ども向けのページを作成。

平成21年3月に携帯電話からの予約を開始。

平成23年度利用実績：	ホームページアクセス件数	272,155件
	蔵書検索件数	735,676件
	メールによるレファレンス件数	225件

#### ② 岐阜県横断検索

平成12年3月実験版が稼働。同年12月に正式版が公開。

・参加館数 43館(公共図書館32館 大学図書館7館 専門図書館4館)

### (7) 企画展示室

平成19年度より先人顕彰室を企画展示室と改め、情報発信の場として活用

平成23年度は7月30日から10月27日まで美術館との協賛事業として「笑いと幻想の世界—絵本の中へ—布山幸子」展を開催。岐阜市在住の布山幸子氏の作品を展示するとともに、図書館が所蔵する絵本の紹介を行った。

(8) 施設開放

多目的ホール・研修室・楽書交流サロンを利用者に広く開放

< 閲覧室の概要 >

開館時間 平日 10:00～20:00

土・日・祝日 10:00～18:00

1階第1開架閲覧室 約19万冊を排架（人文社会系図書・自然工学系図書・児童図書・AV資料・雑誌・外国語資料など）閲覧席187席

2階第2開架閲覧室 約4万冊を排架（郷土資料・新聞資料・地図資料）閲覧席78席  
ブラウジングコーナー 雑誌約340誌、新聞32紙を排架

AVコーナー

ビデオ、LD、CD、カセットテープ、DVDを 26,020点所蔵

[ビデオ・DVDブース] 1台

[CDブース] 1台

[LDブース] 1台

[カセットブース] 1台 計4台設置（すべて1人用）

データベースコーナー 1階 「判例体系(インターネット版)」 「判例タイムズ」 「現代日本人名録」等のCD-ROM、DVD-ROM

2階 中日新聞データベース、「読売新聞」CD-ROM

利用者用端末機 タッチパネル方式 8台

キーボード方式 7台

インターネット専用 5台 計20台設置

所蔵資料約95万点がコンピュータで検索が可能

外国語資料コーナー 1階開架閲覧室に英語を中心に中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語などの外国語で書かれた資料（約8,700冊）を排架

英語 約5,400点 中国語 約1,600点 韓国語 約700点

## 2 図書館資料

### (1) 収集方針等

#### ① 収集方針

県民の調査、研究、学習活動等を支援するために必要な資料を「図書館法」の精神に基づいて幅広く収集。

#### ② 資料収集に関わる平成24年度の重点事項

県図書館として市町村図書館等との役割分担を意識した資料収集をめざし、県民の自立的な課題解決を支援する収集を行う。

#### ③ 資料収集委員会・選書委員会

収集委員会は定例会を年3回開催。蔵書の構成計画、資料の収集計画等を協議決定した。また、選書は年間23回開催した。

### (2) 収集資料

種 類	収 集 の 内 容
一 般 図 書	市町図書館で収集しない専門資料を厳選して収集 県民の調査研究を支援する参考図書、専門図書を収集
郷 土 資 料	行政出版物、民間出版物を含む郷土資料、県内ビジネス・生活情報を継続して収集
地 図 資 料	学校教育への支援を意図した児童・生徒向けの地図関連資料の収集 県の機関等が作成した地図・図書資料の継続的収集
児童コーナー資料	評価の定まったもの、新刊書を厳選して収集
児童図書研究室資料	将来にわたり児童文学等の研究に供するための資料を収集
逐次刊行物 (新聞・雑誌)	県内市町図書館等の所蔵情報を考慮し、県図書館としての機能を担い果たすための逐次刊行物を精査し収集
A V 資 料	郷土関係のAV資料を充実
マイクロ資料	通常の印刷物では入手できない資料及び利用と保存の上からより効率的と考えられる資料を収集
電子出版資料	事典・判例集等、利便性の高く、調査研究に役立つ資料を収集
読書活動支援資料	調べ学習や朝読書用のセット文庫等、子どもの読書活動推進のための資料収集 視覚障がい者録音図書作成のための資料収集
そ の 他	外国語資料、大活字本、視覚障がい者用録音図書・点字図書等を収集

<特別コレクション>

<p><b>啓明文庫（けいめいぶんこ）</b> 平成3年3月改称 昭和48年10月閑淡文庫として設置された文庫。ドイツ文学史研究家伊東勉氏（1992年没）から寄贈を受けた、ゲーテ、シラー、ハイネなどのドイツ古典文学作品とその研究資料及び明治期の日本における比較文学研究資料を中心に収蔵</p>
<p><b>豊田穰文庫（とよだじょうぶんこ）</b> 平成7年7月設置 当県出身の直木賞受賞作家豊田穰氏（1994年没）の戦記文学・戦記物コレクションの寄贈をもとに、氏の全著作と、執筆に際して参考にされた戦史・戦記、政治家・軍人の伝記資料などを収蔵</p>
<p><b>櫻林文庫（さくらばやしぶんこ）</b> 平成8年3月設置 音楽療法の先駆的役割を果たされた東京芸術大学名誉教授で「岐阜県音楽療法研究所」名誉所長櫻林仁氏（1995年没）の研究書、関連図書を収蔵</p>
<p><b>看雲文庫（かんうんぶんこ）</b> 平成10年11月設置 美濃国加納（現岐阜市）出身で江戸後期の美濃における漢詩の第一人者、宮田嘯台（みやたしょうだい・1747～1834）氏の遺稿「看雲栖詩稿」をはじめ、著書・和漢書を収蔵</p>
<p><b>山下和正コレクション</b> 平成13年4月設置 東京在住の元東京工業大学教授で建築家の山下和正氏から江戸時代の国絵図や外国で製作されたアジア・日本の古地図の寄贈を受け設置</p>

(3) 平成23年度購入実績と平成24年度予算

(単位：千円)

	平成23年度実績	平成24年度予算
本館用資料購入費	57,462	32,660
図書購入費	45,384	23,700
逐次刊行物	8,107	7,960
AV資料等	3,973	1,000
読書活動支援図書購入費	463	350
地図資料購入費	2,027	850
総合計	59,954	33,860

(4) 資料の受入

① 選書と受入

- ・新刊図書は隔週300～400冊程度の現物を見ながら選書（現物選書）を行う。  
全集等継続購入の分を含め隔週390冊前後の図書を購入
- ・寄贈図書は郷土資料を中心に毎月400冊前後受入

② リクエスト図書（利用者からの希望図書）

リクエストには、可能な限り購入又は他館借用（相互貸借）で対応

- ・平成23年度実績  
購入冊数 144冊（購入金額 72万円）  
他館借用冊数 1,646冊

- (5) 図書総点検  
 平成23年度実績  
 実施期間 ..... 平成24年2月20日(月)～3月5日(月)の15日間  
 電算点検 ..... 資料をコンピュータ上のデータと照合し点検  
 点検対象冊数 ..... 367,797点  
 移動作業 ..... 増加する資料を効率的に排架するための移動及び書架の延長

- (6) 資料のデジタル化  
 当館が所蔵する郷土資料や貴重資料をデジタル化することにより資料の劣化を防ぐとともに、デジタル化した資料をホームページで公開 (P25の(3)デジタルライブラリー公開資料参照)

### 3 県内図書館への支援・連携と県外図書館との連携

- (1) 図書館訪問  
 市町図書館の活動を支援し連携を促進するため、県図書館の職員が適宜、市町図書館を訪問し、相談、助言等を行った。23年度は12館訪問。(多治見市図書館、可児市立図書館、郡上市図書館、美濃市図書館、高山市図書館、飛騨市図書館、土岐市図書館、しんせいほんの森、大野町立図書館、海津市海津図書館、瑞浪市民図書館、中山道みたけ館)  
 また、県内5地区で職員の意見交換会を開催し、岐阜県図書館と市町図書館等との連携協力のあり方に関しての意見交換を行った。  
 平成22年度から岐阜市立図書館との意見交換会を行っている。平成23年度までに計16回開催。

- (2) 図書館未設置町村巡回  
 図書館未設置町村の公民館図書室を対象に、巡回車を運行し図書室の運営に関する相談・助言や図書館資料の貸出を実施した。  
 平成23年度は、図書館未設置の8町村を対象に年1回実施したほか、可茂地区の公民館図書室担当者会を開催し、意見交換を行った。

- (3) 読書活動支援資料の貸出  
 市町図書館・公民館図書室・読書団体、幼稚園・保育所等の活動を支援するため図書館資料を貸出している。  
 近年の市町村合併の進展により、自動車巡回の訪問先である図書館未設置町村公民館図書室が減ってきたことや平成23年から県図書館の定期配送便による相互貸借資料の往復搬送を開始したことで、読書活動支援資料の貸出数は少なくなる傾向にある。  
 (P30の(8)読書活動支援資料の貸出サービス参照)

- (4) 調べ学習用図書・朝読書用図書セットの貸出  
 子どもの読書環境を整えるための施策の一環として、県図書館が市町の図書館を経由して児童・生徒用の調べ学習用図書・朝読書用図書セット貸出を行い、学校と市町図書館の連携による資料活用の推進を図っている。

- (5) 相互貸借による支援  
 利用者の求めに応じて、自館で所蔵していない資料を他館から借受し、また、他館からの依頼に応じて貸出する「相互貸借」を県内外図書館と行っている。

#### ① 県内図書館への定期便による配送業務支援

当館へ来館することが困難な県民の方にも、地域の市町図書館を通して 県図書館の資料を利用できるよう、市町図書館からの依頼により、週1回資料を各図書館あてに宅配便により定期配送している。

平成16年12月からは、市町図書館間で相互貸借を行う際に、同定期便に資料を載せて県図書館へ配送し、翌週に県図書館から相手館に配送する市町村図書館間の物流システムの運用を開始した。

平成23年1月からは図書館未設置町村の中央公民館図書室等との定期配送便の運用を開始した。

・平成23年度貸出実績	2,048件	12,005冊	市町図書館	1,411件	9,579冊
			公民館図書室	130件	433冊
			大学図書館	46件	292冊
			学校図書館	452件	1,674冊
			その他	9件	27冊
・平成23年度市町村図書館間配送数	総貸出数		8,648冊		

② 県内大学図書館との連携

平成16年3月に岐阜大学図書館との間で相互協力に関する協定を締結し、岐阜大学図書館による週1回の資料搬送を実施している。平成24年4月から岐阜大学返却サービスを開始した。平成22年3月には中部学院大学・中部学院大学短期大学部とも協定を締結した。

③ 県外図書館との連携

東海・北陸地区の県立図書館との間で定期便を運行し、県内市町図書館の相互貸借業務を支援している。(図1)

平成17年6月に東海三県県立図書館間で、平成22年3月に富山、石川、福井の各県立図書館と相互協力の協定を締結し、貸出、返却資料の配送を目的とした定期便の運行を開始した。

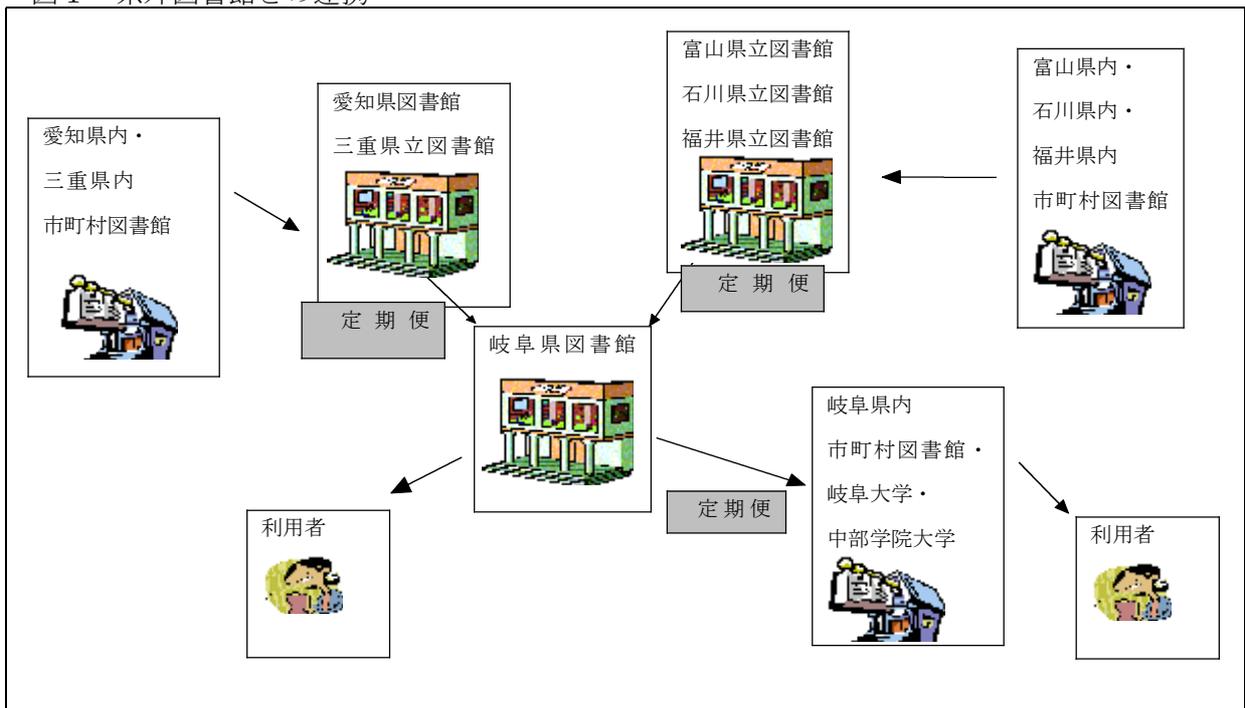
・平成23年度実績 (岐阜県内図書館と 各県内図書館との 定期便を利用した 貸借冊数当館含む)	愛知県からの借受：1,986冊	愛知県への貸出：514冊
	三重県 〃 : 528冊	三重県 〃 : 562冊
	富山県 〃 : 134冊	富山県 〃 : 300冊
	石川県 〃 : 110冊	石川県 〃 : 125冊
	福井県 〃 : 136冊	福井県 〃 : 290冊

④ 県内高等学校図書館への支援強化

平成18年9月から、県内高等学校図書館との相互貸借について、送料を県図書館が往復負担することで、当館資料の利用促進を図ることとした。

・平成23年度貸出実績 1,263冊

図1 県外図書館との連携



(6) 相互連携のための活動

① 岐阜県公共図書館協議会の活動

事務局を県図書館に置き、県内の35公共図書館及び中央公民館図書室1室で構成する。県内図書館の振興により全県域における図書館サービスの発展を図るため、図書館職員向けの研修会、図書館運営やサービスに関する研究、資料の共同収集などを行っている。

平成23年度の研究集会は、10月7日高山市図書館にて筑波大学大学院の葉袋秀樹教授を助言者に迎え、「知の地域づくりのための計画と実践」をテーマに、県内6館の先進的な取り組み事例が発表された。

また、館長研修会は5月20日に岐阜県図書館で開催し、「電子書籍と公共図書館」をテーマに、国立国会図書館関西館の柴田昌樹氏による講義を行った。

相互協力委員会では、「相互貸借貸出条件一覧」の項目見直しについて検討した。

## ② 岐阜県図書館協会の活動

事務局を県図書館に置き、県内の図書館関係団体を総括する。県内の図書館活動を振興し、館種の異なる図書館同士の連携協力を推進するために、図書館職員向けの研修会や相互協力に関する研究などを行っている。

平成23年度は、「広報戦略の実践へ！」をテーマに2月3日に図書館活動研究大会を開催した。講師に仁上幸治氏（帝京大学准教授）、発表者に吉本龍司氏（カーリル）、黒田知範氏（カーリル）を講師に招き、講演・発表・ワークショップを実施した。

岐阜県図書館ホームページ上で、各図書館関係団体の事業概要を公開し、図書館関係者の利用に供している。

## (7) 市町図書館職員・学校図書館員のための研修

### ① 児童サービス実践研修講座

6月23日（木） 岐阜県図書館 参加者64名

「読み聞かせを講習する」 講師 和田聖子（岐阜県図書館職員）

「絵本 選書眼を養うために」 講師 矢野有氏（元国立市立図書館長）

### ② 岐阜県図書館・岐阜大学図書館共催研修

協定に基づく連携協力の一環として、公共図書館・大学図書館双方に有益な研修を開催。

12月9日（金） 岐阜大学総合情報メディアセンター 参加者21名

「福井県地域共同リポジトリについて」 講師 久保智靖氏（福井大学附属図書館職員）

「福井県における公共図書館と大学図書館の相互協力について」

講師 小林香織氏（福井県立図書館職員）

### ③ 初任者専門研修

6月15日（水） 美濃加茂市生涯学習センター 参加者63名

「目録の基礎」「分類の基礎」 講師 稲垣哲久（岐阜県図書館職員）

「レファレンスサービス入門」 講師 近藤由季江（岐阜県図書館職員）

### ④ 司書等研修会（岐阜県教育委員会主催）

6月9日（木） 岐阜県図書館 参加者62名

「子どもの本を選ぶ」 講師 岡崎信美氏（恵那市中央図書館長）

「図書館の魅力を伝える積極的なPR」 講師 岡本真氏（アカデミック・リソース・ガイド）

6月29日（水） 美濃市文化会館 参加者38名

「本の修理講座」 講師 内海春代氏（関市立図書館長）

「医学情報サービスなんてこわくない！」 講師 塚田薫代氏（静岡県立こども病院職員）

「図書館の課題解決支援とは？」 講師 豊田高広氏（田原市図書館長）

7月6日（水） 瑞浪市総合文化センター 参加者45名

「図書館の障がい者サービスについて」 講師 服部敦司氏（枚方市中央図書館職員）

「図書館と著作権」 講師 南亮一氏（国立国会図書館関西館職員）

7月14日（木） 海津市海津図書館 参加者56名

「公共図書館の役割」 講師 水上春雄氏（大垣市立図書館長）

「岐阜県の相互貸借システム」 講師 加藤和英（岐阜県図書館職員）

「絵本の読み聞かせ講座」 講師 石井芳枝（岐阜県図書館職員）

「選書について」 講師 稲垣哲久（岐阜県図書館職員）

### ⑤ 岐阜県レファレンスサービス研修会・平成23年度東海北陸地区公共図書館研究集会

11月17日（木）、18日（金） 岐阜県図書館研修室 参加者 延べ197名

研究主題 「聞かなくても探せる図書館 - 間接レファレンスサービスの極意 -」

講演 「レファレンスサービスの現在」

講師 渡邊斉志氏（国立国会図書館関西館職員）

事例発表 ①多治見市図書館における児童レファレンスサービス

- 窓口で訊かれる前に図書館ができること -

熊谷雅子氏（多治見市図書館職員）  
②岐阜市立図書館における情報リストの役割  
加藤祥子氏（岐阜市立図書館職員）

③間接レファレンスサービスの取り組み - 津島地域の「文化拠点」を目指して -  
園田俊介氏（愛知県津島市立図書館副館長）

④サービスを利用する人はすべて利用者  
- 福井県立図書館レファレンスサービスの軌跡 -  
宮川陽子氏（福井県立図書館職員）

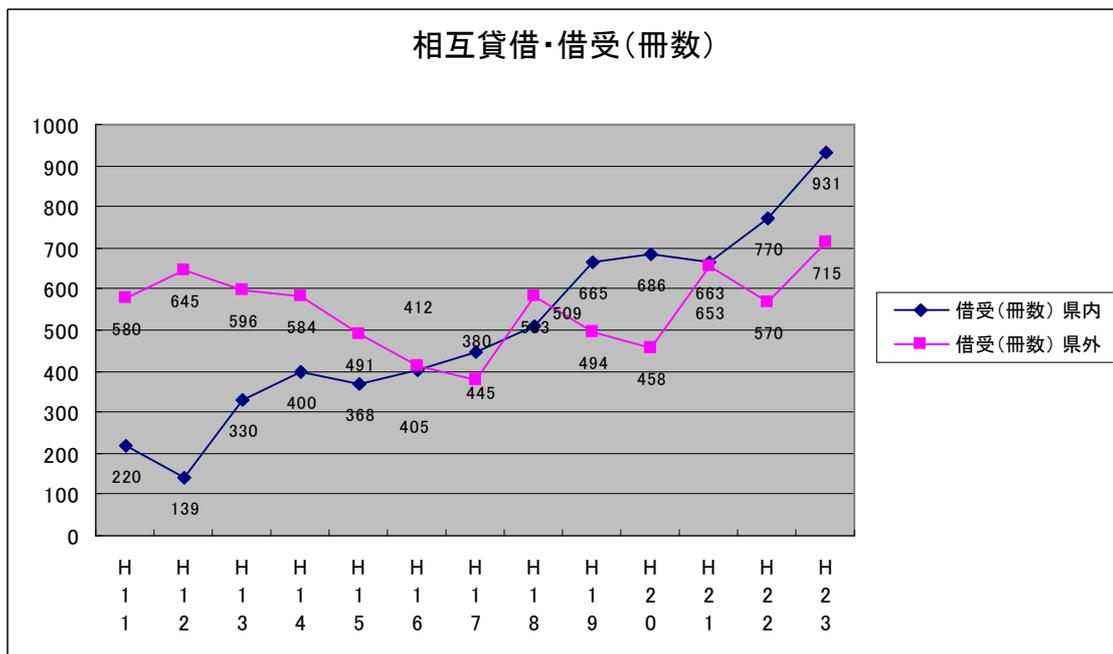
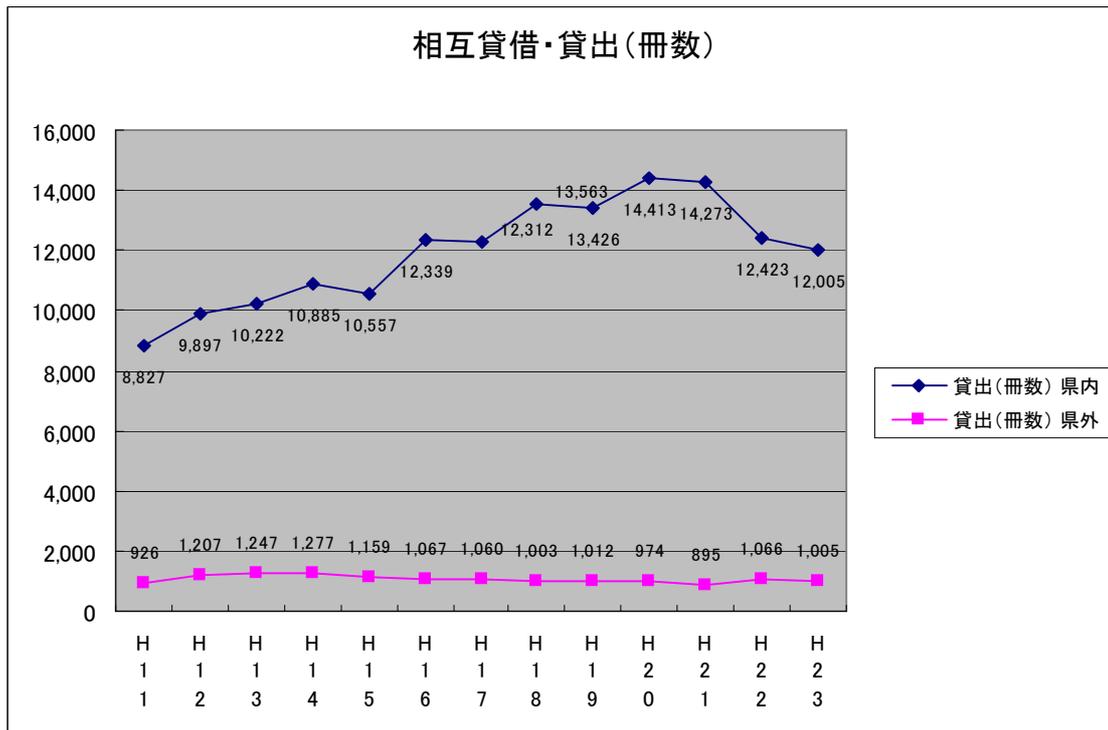
研究討議 事例発表の質疑応答及び討議  
助言者 講師、事例発表者

⑥ 出前講座（職員を講師として派遣したもの） 16件

（出前講座・授業 総数28件

内訳：県教委、当館が主催する研修での講義 7件、  
市町村図書館等が主催する研修等での講義 9件（うち地図3件）、  
児童生徒対象地図授業 2件、その他 教職員等対象 2件、  
総合教育センター研修関連 8件）

相互貸借冊数の推移



## 4 読書・文化活動支援

### (1) 読書活動

- ① 岐阜県読書感想文コンクール(主催：岐阜県読書推進運動協議会、岐阜県図書館、中日新聞社)  
 対象：県内に在住または通勤・通学者  
 部門：小中学生部門「ぼくの・わたしのおすすめ！この1さつ」「大好き読書、大好き図書館」、高校生・一般部門「わたしのおすすめ！この1冊」、「わたしの読書ライフ」、  
 応募作品467(414)点 優秀賞8(3)点 奨励賞20(10)点  
 ※カッコ内はうち小中学生部門数  
 岐阜県読書感想文コンクール表彰式 平成24年1月28日(土)  
 記念朗読会 講師 紺野美沙子氏「心を豊かにする読書」  
 (俳優・国連開発計画親善大使)  
 会場 多目的ホール 参加人数 300名

### (2) 文化事業

- ① 岐阜大学教育学部国語教育講座・岐阜県図書館共催公開講座  
 言葉を学ぼう！文化を学ぼう！ 楽習会

	期日	講師	内容	参加人数
第1回	平成23年6月1日	安直哉准教授	戦中期の紙芝居	12名
第2回 小中学生 夏休み 特別講座	平成23年7月18日	山田敏弘准教授	ことばしらべをしてみよう	26名
第3回	平成23年9月7日	山田敏弘准教授	岐阜県方言の語源小考	22名
第4回	平成23年10月5日	小林一貴准教授	疎開児童の作文を読む	7名
第5回	平成23年11月2日	好川聡准教授	唐詩の世界	24名

- ② 夏休み！子ども図書館探検 8月4日(木)  
 小学生対象 参加者 3年1名、4年2名、5年1名、保護者・兄弟姉妹4名
- ③ ミナモがいっぱいぎふ清流国体展示 12月6日(火)～平成24年10月14日(日)  
 会場 2階企画展示コーナー、郷土資料コーナー
- ④ 布山幸子さんによる作品解説 10月9日(日) (P12参照)  
 美術館との共催事業「笑いと幻想の世界」展に合わせ、企画展示室にて開催。  
 県美術館「実技講座」受講生20名参加。  
 ・布山幸子氏による「実技講座」受講者への作品制作アドバイス、作品解説、作品制作への本の活用法のほか、県図書館職員による県図書館の活用案内を行った。

### (3) その他の活動

- ① 体験学習(高校生以上)  
 受入実績 12名(特別支援学校2名、高校5名、大学1名、教員4名)
- ② 図書館実習  
 受入実績 3名
- ③ 施設見学(全申込は18件、913人)  
 受入実績 10件(概要説明をしない自由見学は除く)
- ④ 「公共図書館向け選書参考資料 小学校学習内容一覧表」  
 ホームページ「学校関係者のページ」に掲載

## 5 県民に開かれた図書館運営

### (1) ボランティア活動

当館の運営は、さまざまな分野でサポーター、ボランティアの方々の活動に支えられている。

図書館側としても、これらの活動に応えるべく、資質向上を図るため研修会を開催したり、懇談会を企画してボランティアの方々との連携・努力に努めている。

また、平成14年に「サポーター・ボランティア控室」、平成15年に「サポーター・ボランティア活動室」を設置し、活動を支援している。

なお、平成19年度から「視覚障がい者サービスボランティア」の名称を「視覚障がい者サービス協力者」に変更した。

### ○ 活動実績

#### ① ボランティア全体

- ・全体交流会（年1回）

平成23年6月25日 参加者15名

#### ② 一般サポーター（登録者数 25名）

- ・活動内容 返却本の整理、破損本の修理、イベントへの協力等

- ・研修会（年1回）・懇談会（年1回）

#### ③ おはなしサポーター（登録者数 31名）

- ・活動内容 おはなし会の実施（月約3回）

- ・研修会（年1回）・懇談会（年1回）

#### ④ 外国絵本サポーター（登録者数 13名）

- ・活動内容 おはなし会での外国語による読み聞かせ（奇数月1回）

- ・研修会（年1回）・懇談会（年1回）

#### ⑤ 視覚障がい者サービス協力者（登録者数 39名）

- ・活動内容 対面読書、録音図書の作製

- ・研修会（隔月1回）・懇談会（年1回）・音訳講習会[初級課程]（平成23年9月13日～11月15日）

#### ⑥ 図書館同人（登録者数 約370名）

- ・郷土研究同人による研究成果の提供やレファレンスの支援

- ・分布図同人や工房同人による研修会事業への参加、開催支援

#### ⑦ 花飾りサポーター（登録者数 4名）

- ・館内美化のためサポーターによる生花の飾りつけ

（登録者数は平成24年4月30日現在）

### (2) 県民からの意見等の図書館運営への反映

「県民に開かれた図書館運営」の実現を目指し、利用者の立場に立った図書館サービスの向上に努めている。各カウンターにおいて常に職員が利用者の意向・動向の把握に努めるとともに、館内に「提案箱」を設け、利用者から寄せられた意見、要望を把握し、より満足していただけるサービスの提供を目指している。また、寄せられた意見、要望に対する回答は、1階エントランスにて公開している。

#### ① 平成23年度「提案箱」へ寄せられた提案件数

90件

#### ② 利用者からのリクエスト図書の購入

144冊（P15参照）

### (3) 利用者アンケート調査（11月～12月、回答235件）を実施した。

## 6 平成24年度 外部データベース、CD-ROM、DVD-ROM、デジタルライブラリー一覧

### (1) 外部データベース一覧

データベース名	複写の提供	利用者提供に伴う料金体系	概要等
日経テレコン21	○	<情報料> 0円 <複写料> 10円/枚	①日経4紙の全文 (日本経済新聞朝刊・夕刊、日経産業新聞、日経流通新聞MJ、日経地方経済面、日経プラスワン) ②企業情報(日経会社プロフィール) (日経プロフィール。上場企業をはじめ、全国主要約2万社の、労務状況、要約貸借対照表、要約損益計算表、監査意見等のデータを収録) ③人事情報 (日経WHO'S WHO。有力企業約5,100社の役員、部長、次課長に加え、中央官庁、政府関係機関等の幹部職員の人事情報を収録) が検索できる。
中日新聞・東京新聞記事データベース	○	<情報料> 0円 <複写料> 10円/枚	①中日新聞記事 1987年4月以降の最終朝夕刊それぞれの最終版と愛知・岐阜・三重・長野・滋賀・福井の中部地方各県版の主要記事、愛知・岐阜・三重県下の全地方版の主要記事 ②東京新聞記事(1997年4月以降の東京新聞の朝夕刊それぞれの最終版)の主要記事 が検索できる。
官報情報検索サービス	○	<情報料> 0円 <複写料> 10円/枚	昭和22年5月3日～直近(当日発行分は午前8時30分以降に公開)の官報(本紙、号外、政府調達公告版)が検索できる。
判例体系全法編	○	<情報料> 0円 <複写料> 10円/枚	①判例書誌(約19万件) ②判例要旨(約33万件) ③判例本文(約17万件) が検索できる。
CiNii定額制	○	<情報料> 0円 <複写料> 10円/枚	CiNii全ての機能と、NII電子図書館の学会誌のうち「定額アクセス可能」の論文本文が利用できる。

## (2) 主要CD-ROM、DVD-ROM一覧

CD-ROM, DVD-ROM名	複写提供 (複写料)	概要等
翻訳図書目録	○ 10円/枚	1992～2000年に刊行された翻訳図書の書誌情報を収録、著者や書名の原綴り、書名中のキーワードから検索できる
大宅壮一文庫雑誌記事索引 1988-2008	×	週刊誌、女性誌、総合月刊誌を中心とした雑誌記事索引
朝日新聞戦前紙面 データベース	○ 10円/枚	昭和元年12月～20年12月までの東京発行全紙面・号外を紙面イメージで収録
朝日新聞戦後見出し データベース	○ 10円/枚	昭和20年～平成11年までの朝日新聞縮刷版の索引見出しを検索できる(記事本文は収録せず)
明治の読売新聞	○ 10円/枚	明治7年11月2日創刊号～45年7月20日までの紙面イメージを収録
大正の読売新聞	○ 10円/枚	大正元年7月30日～昭和元年12月30日までの紙面イメージを収録
昭和の読売新聞	○ 10円/枚	大正15年12月1日～昭和55年12月31日までの紙面イメージを収録
群書類従	○ 10円/枚	書籍『群書類従』(続群書類従完成会版。全30巻・訂正3版)について、書名・輯・頁数による検索ができる
県史誌 近畿東海 (近世、近現代)	○ 10円/枚	岐阜県を含む近畿・東海9県の県史(通史と資料編)の目次・小見出し・図表キャプションなどの内容情報を収録し、キーワードによる検索ができる
現代外国人名録 2002	○ 10円/枚	日本で広く知られている外国人3万4千人のデータを収録
現代日本人名録 2004	○ 10円/枚	政治、経済、学術、芸能など各分野の第一線で活躍する13万人のデータを収録
現代日本人名録 物故者編	○ 10円/枚	20世紀に亡くなった人物9万7千人のデータを収録
角川日本地名大辞典	○ 10円/枚	書籍『角川日本地名大辞典』(県別全47巻)のうち、地名編を収録し、かな・漢字を入力して検索できる
判例タイムズ	○ 10円/枚	創刊号(1950年)～1000号(1999年)までの全頁を収録
判例百選	○ 10円/枚	「判例百選」177冊、「重要判例解説」35冊、「基本判例解説シリーズ」13冊等に掲載された解説を収録
風俗画報	○ 10円/枚	我が国初のグラフ誌、雑誌「風俗画報」〔明治22年(1889)2月～大正5年(1916)3月・全517冊〕を完全収録
日本語発音 アクセント辞典	×	書籍『NHK日本語発音アクセント辞典』をもとに、NHKアナウンサーの肉声で、6万9千語全ての発音・アクセントを収録。カタカナ・ひらがな・漢字による検索ができる
30万語よみ方書き方 辞典	○ 10円/枚	地名・駅名、河川名、島嶼名、寺院・神社名、動植物名や一般的な難読語などを収録し、ヨミや表記を検索できる
世界文学全集総覧	○ 10円/枚	1926～1997年に日本で翻訳刊行された主要な文学全集、個人全集の内容が通覧でき、作品名などから検索できる
児童文学全集総覧	○ 10円/枚	1945～1994年に刊行された主要な児童文学全集と1945～2000年に翻訳刊行された主要な世界児童文学全集の内容が通覧でき、作品名などから検索できる
現代日本文学全集総覧	○ 10円/枚	1897～1997年に刊行された主要な近代文学全集、個人全集の内容が通覧でき、作品名などから検索できる
短編小説 クイックレファレンス	○ 10円/枚	1985～2005年に国内で刊行された短篇小説作品約18万点を、作品名から検索できる
新編国歌大観	○ 10円/枚	全10巻1162集の歌集本文と解題を収録。句、語彙、歌集などから検索できる

## (3) デジタルライブラリー公開資料（平成24年6月1日現在）

## 【郷土資料】

公開資料	概要
郷土絵葉書・写真等	当館が所蔵する岐阜県内各名勝の絵葉書・写真等、42種類（約500枚）。主に1900年初頭から昭和初期のものを収集。
櫻花図譜	桜の研究で世界的に著名な岩村町出身の植物学者・三好学が112種の桜を観察したもの。1921年刊。
The pressed specimens and moths (蝶蛾鱗粉転写標本)	鱗粉転写（蝶や蛾の鱗粉をそのまま写し取り胴体部分を除く）による標本。1908年、名和昆虫研究所工芸部刊行。105枚。
運材図会	天領飛騨の材木を、河川を利用して尾張白鳥湊まで運ぶ様子を描いた図会。富田礼彦著、松村梅幸画。1917年刊。
新式昆虫標本製作	昆虫採集と標本作成についての手引書。木村小舟（明治大正期に少年文学界など幅広い分野で活躍した富加町出身の編集者）と名和靖の共著。1909年刊。
実験竹林造成法	池田町出身で竹林栽培研究の第一人者、坪井伊助による竹林造成の啓蒙書。1913年刊。
坪井竹類図譜	坪井伊助による竹類図鑑。1916年刊。
岐阜県美濃名誉図誌	岐阜県内の神社・仏閣や名望家邸宅を縁起等を添えて絵図としたもの。渡辺市太郎著。1895年刊。
美濃奇観	長良川の鶺鴒、養老の滝周辺等を絵と文で紹介したもの。1880年刊。
美濃紙抄製図説	江戸時代の紙漉きの方法を伝える貴重な記録。1880年、岐阜県勸業課編。稿本。
美濃乃魁 名所国産の手引き	美濃各地び名産・産業を全国で紹介したもの。1883年刊。
商工技芸飛騨之便覧	飛騨高山の名産・産業を全国で紹介したもの。中谷与助著、1888年刊。
養老名所案内	観光客のための案内書。伊那千幹著。1902年、方円堂刊。

## 【ファッション関係貴重資料】

PETIT COURRIER DES DAMES (プチ・クリエ・デ・ダムール)	19世紀前半のパリを代表するファッション誌。服飾画集。全6巻。約1,000枚。1821～1833年刊。
Gazette du Bon Ton (ガゼット・デュ・ボン・トン)	「今世紀最大のモード誌」といわれたファッション雑誌全70号。1912年11月創刊号～1925年12月終刊号。図版総数571点。